

【株式会社パスコ／セコム株式会社 | S研究所／株式会社コミュニケーションシステム】

国際標準に対応した地域情報提供サービス

～ オープンデータを活用したGISとBIMの融合 ～

社会課題テーマの設定	我が国の500㎡以上の土地取引は、全国で年間26万件（売買成立件数）にもなり、物件調査はその約100倍程度の物件調査が行われている。この調査は、建築・不動産関連事業者が市町村の都市計画決定等を案内している窓口に行って紙資料を閲覧して確認しており、効率化が求められる。
解決アプローチ	横浜市から不動産調査に必要なデータを取得して、それらの情報と国土地理院の基盤地図情報をIFCに変換してクラウドサービスによって情報提供し、不動産事業者が不動産を評価するための企画段階についてBIMを活用することで、不動産調査の手間を大きく削減するとともに地方公共団体窓口対応の省力化を図り、「 建築・不動産プロジェクトの効率性の改善 」、「 不動産市場の活性化 」を目指す。
作品概要	地方公共団体が保有している都市計画関連の情報をISO規格であるIFC データに変換することによって、高度で多様なデータ連携を実現し、GISとBIMを活用した不動産調査を行うアプリケーション。
利用する公共データ	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画データ（横浜市）※本コンテストのみでの利用 ・基盤地図情報（国土地理院） 等

